

第3回定例会(9月議会)

9月4日
▼
9月12日

平成30年度決算を認定

＜一般会計＞ 歳入 **112億3,923万円** (前年対比△2.0%)

歳出 **107億3,526万円** (前年対比△1.7%)

＜特別会計＞ **6会計及び水道事業会計認定**

平成30年度一般会計決算等の内容が、広報いけだ11月号に記載されていますので金額等は省略いたします。

平成30年度国民健康保険特別会計決算

区分	歳入決算	歳出決算	差異
H29年度	28億9,067万円	26億7,206万円	2億1,861万円
H30年度	26億 408万円	23億8,635万円	2億1,772万円

加入状況

区分	H30.3.31	H31.3.31	差異
世帯数	3,046世帯	2,960世帯	△ 86世帯
被保険者数	5,247人	5,011人	△ 236人

平成30年度公共下水道事業特別会計決算

区分	歳入決算	内 使用料 及 手数料	歳出決算
H29年度	7億7,655万円	1億4,956万円	7億7,652万円
H30年度	8億3,502万円	1億5,732万円	8億3,074万円

加入状況

区分	H30.3.31	H31.3.31	差異
使用件数	2,297件	2,439件	142件
使用対象人口	12,243人	12,731人	488人

監査委員の決算審査意見(抜粋)

一般会計歳入総額については、収入済額 112 億 3,923 万円で前年度に比べ 2,246 万円減少したが、町税の収入未済額は、4,213 万円となっている。納税者が納税しやすい環境づくりを推進すると共に、税の基本である「負担の公平の達成」に向け滞納整理及び徴収業務については一層の工夫を加え、実効を高めるよう不断の努力を期待したい。

国民健康保険特別会計については、町税に比べて収入未済額が高い状況であることには留意すべきであり、未収金を減らすよう滞納処分の強化など滞納整理に一層の工夫と努力を期待したい。

公共下水道事業特別会計については、下水道整備により、地方債現在高が増加するため、計画的な事業を行い、町債発行額の抑制、また、接続率の向上を図りつつ、料金滞納の一掃、料金の適正化等を検討しながら、効率的かつ効果的な運営に努められたい。

町財政運営についての意見・要望として、今後さらに少子高齢化が進行し、また行政に求められるサービスは多様化する中、地方行政のかじ取りは更に難しいものとなるが、より一層「出づるを制し入るを量る」の基本に則った財政運営への努力を望むものです。

議会の同意案件

- 池田町教育委員会委員の任命 中村 昌秀 (本郷 382 番地の 4) 再任
- 池田町固定資産評価審査委員会委員の選任 河野 和通 (宮地 946 番地の 1) 新任

議会の推薦案件

- 人権擁護委員候補者 太田 悦子 (舟子 402 番地) 新任